

修学旅行新聞

発行所 財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人 鴻田好通
〒102-0074
東京都千代田区九段南
2-6-8 九段南ビル
☎ 03 (5275) 6651
http://shugakuryoko.com
e-mail shuryo@h2.dion.ne.jp

体験的学習を通して生きる力を 育成する修学旅行

第18回全国修学旅行研究大会を大阪で開催

主催：関東・東海・近畿三地区修学旅行連合委員会 / (財)全修協

「体験的学習を通して生きる力を育成する修学旅行」を大会テーマとして、第18回全国修学旅行研究大会(主催：関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会)会長・森秀樹松原市立松原第二中学校長、財団法人全国修学旅行研究協会理事長・谷合良治、後援：文部科学省他が11月22日大阪市の府立教育会館で、近畿各府県はもとより関東・東海地区の教員・教育関係者300余人が参加して開催された。

この研究大会は、学校教育行事として全国の学校で実施される修学旅行の改善向上を図るため、毎年11月に開催されており、大会は、学校による修学旅行研究実践発表を中心として運営されている。本年度の研究発表は、「総合的な学習にリンクさせた修学旅行」を実践している松原市立松原第二中学校と「自立を目指す3年間を見守った学校行事づくり」を行なっている兵庫伊丹市立東中学校の2校であった。

松原第二中学校による発表は、長崎市でのコース別学習について、2年次での総合学習プランがあり、その積み重ねの上に長崎修学旅行が計画されており、①地域を越えて課題を学習する②平和と共生

の課題の、松原と長崎をつなぐ7つのコース別学習を設定し実施されている。続いて丹市立東中学校は、小・中・高等学校の参加申込みがあり、11月30日をもって応募受付を終了した。参加作品の多くは、修学旅行中の画像配信など、リアル面においても、各学校の研究成果が現れている。学校でのコンピュータ活用が今後なお一層の広がりをみせていく中で、各学校の修学旅行の優れた実施事例とそれら内容が紹介された学校ホームページは、今後の取り組みの上で大いに参考になり得るものと期待されている。

結果は、審査委員会の審査を経て平成14年2月末に発表し表彰を予定している。優秀事例は、全修協HP「修学旅行ドットコム」上にリンクするとともに本紙でも順次紹介して

「第1回修学旅行ホームページコンクール」参加校 (単位：校)

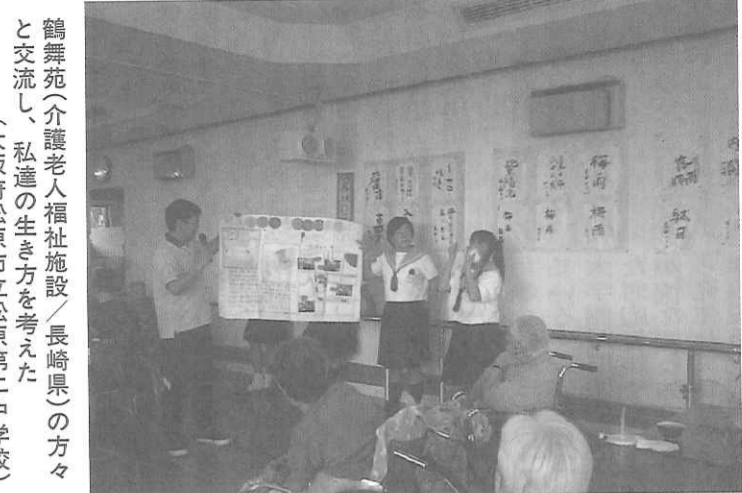
	高等学校	中学校	小学校
北海道・東北	28	2	3
関東	95	14	
中部	74	3	
近畿	68	24	
中国四国	30	7	1
九州	36	5	1
合計	331	55	5

修学旅行は「ノビザ」で中国国家旅游局の可局長は、日中間の観光交流について、訪中の修学旅行は「ノビザ」制度を2002年1月から実施すると発表している。中国への修学旅行は毎年増加しており、平成12年度は500校生徒数約4万人と海外修学旅行訪問国のトップを占めている。

「大会テーマ」
「体験的学習を通して生きる力を育成する修学旅行」
「研究発表校」
○「総合的な学習にリンクさせた修学旅行」
大阪府松原市立松原第二中学校
中村勝成教諭 田中 繁教諭
○「自立をめざす3年間を見守った学校行事づくり」
兵庫伊丹市立東中学校
岡田みどり教諭

に位置づけていることをキーワードとして、講評があった。最後に文部科学省初等中等教育局児童生徒課森嶋昭伸生徒指導調査官による両校の実践にもふれながら「学校教育の転換と修学旅行」と題した記念講演が行われた。

「391校が参加、研究・実践の成果をHPで！」
「第1回修学旅行ホームページコンクール」応募締切



鶴舞苑(介護老人福祉施設/長崎県)の方々と交流し、私達の生き方を考えた (大阪府松原市立松原第二中学校)

平成13年11月22日 修学旅行関係者沖縄招へい事業の実施について (国土交通省)

<問い合わせ先>
総合政策観光部観光地域振興課(内線27212)
TEL:03-5253-8111(代表)

沖縄への修学旅行については、テロ事件発生後、11月13日現在で17万人を超えるキャンセルが発生しており、沖縄観光は大打撃を受けております。このような状況を踏まえ、国土交通省は、沖縄県、文部科学省と連携して、修学旅行関係者招へい事業を実施します。これは、修学旅行関係者に沖縄の現地を視察してもらい、沖縄の魅力や再認識していただき、今後の修学旅行のキャンセルをおさえ、沖縄への修学旅行の決定を促すための事業です。今般、本事業の第1回目の実施内容が次のとおり決定しましたのでお知らせします。

- 記
1. 期間 平成13年11月28日(水)~30日(金)
 2. 参加者 PTA団体役員、中学・高等学校校長など11名
 3. 視察コース ①首里城、東南植物楽園など中・北部、南部の一般的な修学旅行コースを視察。
②沖縄の現状と沖縄観光の魅力等を説明するセミナーに参加。
なお、本招へい事業を200名を目途に順次実施していきます。

以上

「大会テーマ」
「体験的学習を通して生きる力を育成する修学旅行」
「研究発表校」
○「総合的な学習にリンクさせた修学旅行」
大阪府松原市立松原第二中学校
中村勝成教諭 田中 繁教諭
○「自立をめざす3年間を見守った学校行事づくり」
兵庫伊丹市立東中学校
岡田みどり教諭

に位置づけていることをキーワードとして、講評があった。最後に文部科学省初等中等教育局児童生徒課森嶋昭伸生徒指導調査官による両校の実践にもふれながら「学校教育の転換と修学旅行」と題した記念講演が行われた。

「391校が参加、研究・実践の成果をHPで！」
「第1回修学旅行ホームページコンクール」応募締切

修学旅行は「ノビザ」で中国国家旅游局の可局長は、日中間の観光交流について、訪中の修学旅行は「ノビザ」制度を2002年1月から実施すると発表している。中国への修学旅行は毎年増加しており、平成12年度は500校生徒数約4万人と海外修学旅行訪問国のトップを占めている。

「風紋」
毎年同じこの繰り返し、二月になると、誰もが一年を振り返る。過去を振り返ったとて取り返しはつかないが、この一年の諸々の過去を一緒にして葬り去ってしまいたいというむきもある。それが明日への希望に繋がることもある。忘れることもまた大切なことである。また何かいいこともあるさ。第二次大戦、東京空襲、焼け野原に佇む二人の女性の会話に山田風太郎氏は衝撃を受けたという。その風太郎氏も故人となった。人は死んで三日もたてば三百年前に死んだのと同然になるとの言葉を残している。今静かな風太郎人気のようなものが広がっている。年というよりは2001年という方が現代風なのであろう。生まれ故郷のN市から桜の木を植えるにやまなかったという誘いがあった。2001年に因んで2001本の桜を植えようと言ったのである。十一月の日曜日、山の斜面に一米程の苗木を植えた。ルーミアの作家、ゲオルギウスの「25時」の文が頭をかすめる。世界の終末が明日であろうとも、私は今日、リンゴの木を植える。すべからぬ人間がなさねばならない事は。彼の桜の木にも花の咲くのを夢に見ながら(鴻)

近畿日本ツーリスト
人が好き。地球が好き。旅がスキ。
国土交通大臣登録旅行業第20号 (社)日本旅行業協会会員

楽しい旅に、大きな安心。

「学校旅行総合保険」をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

修学旅行実施事例紹介 21

総合学習とリンクさせた長崎修学旅行

「KIZUKE」なにかま・ひと・自分 ～長崎から夢へ～

気づけ・築け

大阪府松原市立松原第二中学校

1. 修学旅行の要項
- (1) 目的
 - ① 1年生の時から行ってきた総合学習の総まとめにする。
 - ② 1年での「自己理解から他者理解へ」、2年からの3年での「共生と自己実現をめざして」という生徒の主体形成をめざした教育活動を通して、何百人という地域のみなさんから学んだことを、何百人という地域のみなさんへ伝えていく。
 - ③ 2年間の総合学習を通して、何百人という地域のみなさんへ伝えていく。
 - (2) コース別学習や名所・史跡を見学すること、その土地の持つ風土や文化を知ること、そして長崎の地に生きる人々の生きざまを学ぶ。
 - (3) 自主活動を通して、中学生活のまとめにする。
- ・期間 平成13年6月3日(日)～5日(火)泊3日
2. 本校の総合学習
- (1) 本校が進めてきた「地域に開かれた学校づくり」の中で、「地域との関わり、地域の教育力を生かす」という観点で取り組まれてき

た教育活動を生かしながら、総合学習の力や学習意欲、あるいはものの考え方が大きく様変わりしてきている。最近の学生たちの学力や学習意欲、あるいはものの考え方が大きく様変わりしてきている。最近の学生たちの学力や学習意欲、あるいはものの考え方が大きく様変わりしてきている。

① 総合学習のねらい

② 総合学習のプログラム

③ 総合学習のねらい

① 総合学習のねらい

② 総合学習のプログラム

③ 総合学習のねらい

④ 総合学習のねらい

⑤ 総合学習のねらい

⑥ 総合学習のねらい

⑦ 総合学習のねらい

⑧ 総合学習のねらい

⑨ 総合学習のねらい

⑩ 総合学習のねらい

⑪ 総合学習のねらい

⑫ 総合学習のねらい

⑬ 総合学習のねらい

⑭ 総合学習のねらい

⑮ 総合学習のねらい

日次	行程
1日目	学校→伊丹空港→福岡空港→長崎・平和公園(コース別聞き取り)、グラバー園→ホテル泊
2日目	長崎市内オリエンテーリング(班活動)→牧島ペーロン体験→ホテル泊 夕食後、クラスミーティング
3日目	ホテル→スペースワールド(班活動)→小倉駅→ひかり→新大阪→学校 14:39 17:48

古代文化 邪馬台国ルート 吉岐へ...

魏志倭人伝に一支国の名で記されている。古代大陸交流の要としてクニを構えていた吉岐。イルカとの共生をはじめ自然とのふれ合いが出来る絶好の教育旅行の場としてお薦めします。

吉岐教育旅行受入協議会事務局

九州郵船

TEL (092) 281-0831
FAX (092) 281-0444
URL http://www.mapion.co.jp

教育の窓

「FD」と聞くと、ワープロやパソコンで使用するフロッピーディスクの略称だと思える人が大半であろう。情報教育の推進に頭を痛めている学校の現場では、「FD」はもう「CD」「DVD」といった用語が飛び交う。

ところが、最近、大学関係者の中で、「FD」が別の意味で重要な関心事になっている。すなわち、大学のFD(Faculty Development)をどのように考え、どのように具現して

いっただらよいかという問題である。ここで言う「FD」とは、大学の各学部(ファカルティ)や教授団の教育指導能力をどのように発達させ、教育機能をどう生かして、学生たちの期待にどう応えていけばよいかといった内容を意味している。

最近の学生たちの学力や学習意欲、あるいはものの考え方が大きく様変わりしてきている。最近の学生たちの学力や学習意欲、あるいはものの考え方が大きく様変わりしてきている。

FDに学ぶ

東京農業大学教授 元文部省主任視学官 渡部 邦雄

学問研究こそが、大層な大学進学率、数年後の学本来的使命であり、学生指導は付随する事柄であるといった考え方を、払拭することを意味している。

十八歳年齢の減少に伴う大学の生き残り問題になる今日、どの大学もこれまでの教育の在り方が問われるようになってきている。直されてきていると言ったことなのである。

自由の重要性を前提にしながらも、特色ある大学、開かれた大学を目指す必要性の自覚が求められているのだ。

学問「研究」のレベルを維持しながらも「教育」面における授業改善や学生サービスに視点を当てた大学経営、運営が緊急の課題になっている。

各教員が担当するそれぞれの授業科目の目的、内容、方法、使用資料、参考書、評価方法、化していかなくてはならないのが今日の大学。学生に具体的に示す「シラバス」(講義要項・授業計画)の作成の進行は、本来あるべき姿の検討をようやく組上に乗せることになった。

多彩なステージ、総合学習の定番リゾート！ さらにはパワーアップしました

宿泊研修・体験学習・オリエンテーション・各種合宿・修学旅行
インドア施設完備で雨天対策も万全です

●主な体験施設と学習コース

- ・宿泊施設(450名収容)・グランド・体育館・交流研修館・文化ホール(600名収容)・テニスコート・室内温水プール・乗馬・ハイキング・ウォークラリー・陶芸教室・かごみ教室・スポーツ体験・ダルマの絵付け・テーブルマナーなど

●交通ガイド

(バス)東北自動車道:白河ICよりR289経由45分
常磐自動車道:那珂ICよりR118経由100分
(JR)東北新幹線:新白河駅よりバス40分

ナフサナフサ
リゾートスポーツプラザ
〒963-6123 福島県白川郡柳井町関口
TEL 0247-33-4111 FAX 33-7100
http://www.naf.co.jp/r-tngr

動物たちとふれあいながら楽しく学ぶ。

●営業受付時間
9:00～17:00 (3月16日～11月15日)
9:30～16:00 (11月16日～3月15日)

●修学旅行料金(消費税含む)
高校生 1,200円 中学生 900円
小学生 800円
※ガイドラジオ バス1台につき1,100円

九州自然動物公園
アフリカンサファリ
〒872-0722 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
TEL(0978)48-2331(代) FAX(0978)48-2330